

十和田湖歴史ガイド

「霊山十和田と呼ばれた時代」

十和田湖誕生

十和田湖の生きたち

1 約20万年前
十和田火山の活動が始まり、噴火による溶岩流と爆発的噴火によって、先カルデラ成層火山群が形成された。

2 約55,000年前～15,000年前
比較的大規模な火砕流噴火が少なくとも3回発生
①55,000年前 噴流火砕流
②36,000年前 大不動火砕流
③15,000年前 八戸火砕流

3
これらの火山活動の結果、直接約11kmの四方には十和田湖の原型(十和田カルデラ)が出来上がった。その後、湖水が増え、湖岸の侵襲も進み、外輪山の壁を破って流れた水が奥入瀬谷を刻み、奥入瀬溪流と成る。

4 約15,000年前
湖の東岸に再び火山活動が起き、小さな扇形山(中央火口丘)が形成された。
中央火口丘の東部が爆発的な噴火を起こすようになり、その噴火活動によって火口は次第に拡大していき、凹地に湖間から水が流れ込み中湖ができた。

5 約11,000年前～2,700年前
少なくとも8回の噴火が確認されている。うち約7,500年前の噴火では御倉山溶岩トーンが形成された。度重なる噴部の噴火によって生じた御倉山溶岩トーンが湖の東岸に堆積し、湖間を埋め、湖の東岸に御倉山溶岩トーンが形成された。この活動は過去2000年間で起きてきた噴火で国内最大といわれている。この活動が最後に現在に至っているが、十和田湖は須火山帯の活火山です。

西暦915年
この時活動は過去2000年間で起きてきた噴火で国内最大といわれている。この活動が最後に現在に至っているが、十和田湖は須火山帯の活火山です。

5つの参詣道

現在、参詣道として確認されているのは5つで、青森県側からは、七戸道、五戸道、三戸道があり、秋田県側からは、白沢道と藤原道があります。

藤原道については、江戸時代後期の紀行家である菅江真澄が十和田湖を訪問した紀行文「十曲湖」に記されており、また、幕末から明治にかけての探検家である松浦武四郎は、七戸道を歩いた状況を「鹿角日誌」に記しています。

十和田古道の復活

5つの参詣道のうち、菅江真澄がたどった藤原道は、車や徒歩で簡単にたどることができますが、その他の参詣道は廃れてしまっています。

しかし、かつての参詣道の状況について調査した結果、七戸道と五戸道については、江戸時代の道が一部残っており、道中には、観音堂、十和田湖を選択するための遷拝所などの史跡も残っています。

現在、残された一部の参詣道を十和田古道として復活させ、歩くだけではなく、車や遊覧船、ボートなどを組み合わせた現代版の参詣ツアーを開発し、十和田湖の新たな魅力として観光客を楽しんでもらおうという取組が始まっています。

十和田古道

「今も残る十和田湖への参詣道」

今は、道路も整備され簡単に訪れることのできる十和田湖ですが、霊場として多くの人々が参詣していた時代は、山を越え難行苦行の末たどり着ける奥地の湖でした。



- 27 銚子大滝の上の遷拝所
五戸・七戸・八戸方面からの旧参詣道(十和田古道)の途中にあります。境界の意味もあり、十和田湖が女人禁制とされていた時代、女性はここからかすかに見える湖に祈りを捧げ、引き返していたそうです。
- 28 十和田山新道開通の碑
元禄六年(1693年)に刻まれたもので、子ノ口交差点の道路わきにあります。五戸方面からの旧参詣道(十和田古道)開通の碑です。当時の十和田神社宮司・織田左馬之丞が新道改修を願い出て、南部藩主・重信公の命により五戸代官・木村又助秀晴がこれを施工した。と書かれています。
- 29 松倉神社
子ノ口と宇樽部の中間にあります。ここに鏡を奉納すると、美しい女の子が生まれると伝わっています。また、神の居る御倉半島を望む遷拝所でもあったため、古銭や古鏡が数多く発見されています。

十和田神社

大同2年(807年)に坂上村麻呂が武神の祖と仰がれた日本武尊(やまとたけるのみこと)を祭神として祀り創建したと語り伝えられています。その後915年に起こった大噴火によりすべてがなくなりましたが、鎌倉時代になって熊野系の修験者によって再び開山され、江戸時代には恐山とともに南部藩二大霊場とされました。

修験者が入山するようになってからは、「湖」そのものをカミとする自然崇拜・精霊信仰と仏教が結びつき、「青龍大権現」や「南祖坊」に対する信仰が北東北一帯に浸透していったようです。その当時、「十和田神社」と名前のつく神社や「遷拝所」は北東北のいたるところにあったといわれ、その「十和田信仰」の中心地がこの場所でした。

長い間、神仏混淆の場所でしたが、時代が下り、明治時代の神仏分離令により仏教的なものは排除する政策がとられたため、「青龍大権現」と「南祖坊」がこの上の神泉苑へと移され、現在に至っています。毎年旧暦の五月十四日にはお籠り祭が、五月十五日には大祭が行われ、多くの信者さんがお参りをします。現在の拝殿は、昭和16年に建てられたもので、前面に厄を払う獅子、その横に夢を叶えるバク、拝殿の両脇には翁と姫、壁には鯉・朱雀・鳳凰等たくさんの素晴らしい彫刻に囲まれています。

占場

占場は、十和田神社と並んで参詣の目的地となっていました。伝説では南祖坊がここから湖へ入定し、青龍大権現になったと伝えられています。静寂な神域である「中湖」と、その奥の神が居る「御倉半島」に一番近づける場所が占場であったことから、米や銭を撒いて占いやお祈りをする「散供打ち」が行われていました。

明治時代に古銭の引き上げを行ったところ、唐銭や宋銭といった平安時代に作られた古いお金も混じっていたことから、人々は古くからこの地を参詣していたことが伺えます。

山岳霊場 霊山十和田

「平安時代から修験場として賑わう」

日本有数の観光地として賑わうはるか昔、十和田湖は山岳霊場として多くの人々から厚い信仰を受けていました。熊野や日光と並び称される「霊山十和田」には壮大にして巨大な信仰の世界が広がっていたのです。

平安末期に山伏の修験場として開かれたとされ、最も栄えたのは一般の人も参詣するようになった江戸時代で、休屋・休平には参詣者のための宿泊小屋が十数軒建っていたそうです。



アクセスガイド

高速道路ICから	十和田IC	車	50分
	小坂IC	車	40分
	黒石IC	車	1時間
	下田百石IC	車	1時間30分

駅から	青森駅	バス	3時間20分
	森	車	2時間20分
	新青森駅	バス	3時間
	八戸	車	2時間20分
	八戸駅	バス	2時間15分
	七戸十和田駅	車	1時間40分
	七戸十和田駅	バス	1時間30分
	鹿角花輪駅	車	1時間

空港から	青森空港	車	1時間50分
	三沢空港	車	1時間40分
	大館能代空港	車	1時間50分

所要時間はおおよその時間です。道路状況などにより、多少の変動があります。

発行 / 上北地域県民局地域連携部

(連絡先 / 地域支援室 0176-22-8194)

監修 / 十和田湖自然ガイドクラブ

十和田湖の誕生

十和田湖は、約20万年前に十和田火山の噴火によって誕生しました。その後の火山活動により、湖の形状や深さが変化してきました。現在、十和田湖は、美しい自然環境を誇る観光地として知られています。

十和田湖の歴史

十和田湖は、古くから人々の信仰の中心地として賑わってきました。山岳霊場としての歴史は、平安時代から始まり、江戸時代には、熊野系の修験者によって再び開山されました。その歴史は、十和田湖の文化や伝統を形成してきました。

十和田湖の歴史

十和田湖は、古くから人々の信仰の中心地として賑わってきました。山岳霊場としての歴史は、平安時代から始まり、江戸時代には、熊野系の修験者によって再び開山されました。その歴史は、十和田湖の文化や伝統を形成してきました。

十和田湖の文化

十和田湖は、古くから人々の信仰の中心地として賑わってきました。山岳霊場としての歴史は、平安時代から始まり、江戸時代には、熊野系の修験者によって再び開山されました。その歴史は、十和田湖の文化や伝統を形成してきました。

十和田湖の自然

十和田湖は、古くから人々の信仰の中心地として賑わってきました。山岳霊場としての歴史は、平安時代から始まり、江戸時代には、熊野系の修験者によって再び開山されました。その歴史は、十和田湖の文化や伝統を形成してきました。

十和田湖の観光

十和田湖は、古くから人々の信仰の中心地として賑わってきました。山岳霊場としての歴史は、平安時代から始まり、江戸時代には、熊野系の修験者によって再び開山されました。その歴史は、十和田湖の文化や伝統を形成してきました。

十和田湖歴史散策マップ

至 八幡平・鹿角市・弘前市
For Mt.Hachimantai・Kazuno City・Hirosaki City



凡例

- トイレ Toilet
- 多目的トイレ Toilet
- バスターミナル BusStation
- ガソリンスタンド
- 園地・広場等
- 駐車場等
- 1~29 各所興味地点等
- 県境

0 100 200m

施設案内(市外局番0176)

案内所・観光施設【休屋・休平】

- 1 十和田湖総合案内所 75-2425
- 2 十和田湖観光交流センター ぶらっと 75-1531
- 3 十和田ビジターセンター 75-2368

アウトドア・アクティビティ【遊覧船・ボート・カヌー】

- 4 十和田湖遊覧船(十和田観光電鉄) 75-2201
- 5 十和田湖遊覧船企業組合 75-2588
- 6 十和田湖マリンブー(ボート) 75-3025
- 7 十和田湖モーターボート 75-2510
- 8 十和田湖レンタルボート 75-2073

9 十和田湖マリーナ(ボート) 75-2156
10 グリランド(ボート) 75-2755
NExグリーンハウス(カヌー) 70-5977

【十和田湖自然歴史ガイドツアー】
十和田湖自然ガイドクラブ 090-5181-7658

十和田湖(西湖) Lake Towada



1 旧参道入り口の大イチョウ

かつてはこの場所が十和田神社へ続く参道の入り口でした。十和田古道と呼ばれる旧参詣道は五つありますが、そのすべてがここへ集結していたのです。社務所や参拝者のための宿泊小屋があったとされていますが、その様子は1807年(江戸時代)にここを訪れた紀行家・菅江真澄のスケッチに描かれています。

2 神田川(解除川・はらいがわ)

川は結界の意味も成します。また、参拝者が手を洗い、口をすすぐなど身を清める場所でもありました。現在は青森県と秋田県の県境にもなっています。

3 旧参道の杉並木

江戸時代、神社へ続く参道として南部藩により植えられたものです。樹齢250年以上ともいわれる巨大な杉が立ち並んでいます。

4 一の宮 八幡宮(中央)

八幡宮は清和源氏が氏神として信仰し武神として崇められてきましたが、清和源氏武田の支族である南部氏も八幡様を信仰していました。軍神である八幡様と南部藩名産で、戦に欠かせない馬と結びついたためか、このお宮には白馬が納められています。南部藩の伝統民芸品、八幡馬は八戸にある南部の総鎮守、榊引八幡宮に由来しています。

八之太郎の祠(左)

十和田湖伝説の中で南相坊に敗れた八之太郎が祀られています。八幡宮と熊野山は正面を向いて建てられていますが、一つだけ湖を向けて建てられています。

熊野山の祠(右)

三つあることから本宮・新宮・那智大社を表しています。よく見ると中には「熊野」の文字が読み取れます。

5 和井内貞行の石碑

和井内貞行は それまで魚の棲まない湖であった十和田湖に、私財を費やしヒメマスを定着させたことで有名です。昭和25年には映画「われらの魚を見たり」が製作され、教科書にもとりあげられました。この石碑は貞行の功績を記念して建てられたものです。また、十和田市十和田湖観光交流センター「ぶらっと」には和井内貞行の資料を展示しています。

6 御手洗場

神社にお参りする人が体を清めるところです。ひしゃくを使い、左手を清め、口をすすぎます。修験者は耳や目などの不浄とされるところを全て清めるそうです。5〜6月になると、手洗い場の奥からカエルの声が聞こえ、まるで籠の音が聞こえるかのようです。また、夏の夜にはこの一体にヒメホタルが現れ、幻想的な雰囲気包まれます。

7 女木

御神木の一つです。穴の中にお賽銭を入れ、安産・子宝を祈願します。

8 十和田山の碑

明治十五年と刻まれています。当時ここへ奉納するためにこの岩を背負い、関西からやってきた人物がいたそうです。その男は現在の十和田市・沢田のある民家の前で行き倒れとなってしまったのですが、その民家の主人が後を引き継いで建んできたといわれています。お姫様の霊が出るという噂? もあります。

9 十和田神社

山岳霊場 霊山十和田を参照

1 旧参道入り口の大イチョウ

2 神田川(解除川・はらいがわ)

3 旧参道の杉並木

4 一の宮

5 和井内貞行の石碑

6 御手洗場

7 女木

8 十和田山の碑

9 十和田神社

10 熊野権現

11 稲荷神社

12 蓮華経の碑

13 八幡宮

14 南相殿

15 十和田青龍権現社(元宮)

16 占場・中湖

17 石鳥居の碑

18 柱状列石(十和田湖誕生の項目を参照)

19 乙女の像

20 御前ヶ浜(みまえがはま)

21 恵比寿島・大黒島

22 開運の小道

23 自龍岩(じごもりいわ)

10 熊野権現

11 稲荷神社

12 蓮華経の碑

13 八幡宮

14 南相殿

15 十和田青龍権現社(元宮)

16 占場・中湖

17 石鳥居の碑

18 柱状列石(十和田湖誕生の項目を参照)

19 乙女の像

20 御前ヶ浜(みまえがはま)

21 恵比寿島・大黒島

22 開運の小道

23 自龍岩(じごもりいわ)

14 南相殿

16 占場・中湖

17 石鳥居の碑

18 柱状列石(十和田湖誕生の項目を参照)

19 乙女の像

20 御前ヶ浜(みまえがはま)

21 恵比寿島・大黒島

22 開運の小道

23 自龍岩(じごもりいわ)

20 御前ヶ浜(みまえがはま)

21 恵比寿島・大黒島

22 開運の小道

23 自龍岩(じごもりいわ)

24 正福龍神大神の祠

25 御室(現在は立ち入り禁止)

26 御門石

23 自龍岩(じごもりいわ)

24 正福龍神大神の祠

25 御室(現在は立ち入り禁止)

26 御門石

至 奥入瀬溪流・八甲田山・十和田市・青森市
For Otase Gorge・Mt.Hakkoda・Towada City・Aomori City

標高 400m 深さ 327m
面積 61km² 周囲 53km
十和田湖一周約47km 車で約1時間30分

至自龍岩

19 乙女の像

20 御前ヶ浜

21 恵比寿島・大黒島

22 開運の小道

23 自龍岩(じごもりいわ)

24 正福龍神大神の祠

25 御室(現在は立ち入り禁止)

26 御門石